

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	30-2	
PDCA	主要事業名	亀崎小学校改築等事業	部課名	教育部学校教育課	担当 内線	榊原 517		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 1 - 3 単位施策： 義務教育 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 8 年度 全体事業費等： 3,898,824 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.02.03.05.50						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用	
	事業概要等	事業概要： 亀崎小学校の校舎南棟・中棟の改築（建替え）、北棟の大規模改修、体育館の改築（建替え）を行う。						
		事業目的： 老朽化した学校施設を計画的に更新し、児童の学習環境の向上を図る。						
		事業内容： 老朽化した学校施設（校舎・体育館）の改築・大規模改修を行う。						
		問題点・課題等： 全ての学校施設の老朽化等を踏まえ、学校に求められる機能を確認しつつ、ライフサイクル等： ルコストの削減や予算の平準化を図ることが必要である。						
	予算額	主要事業とする理由						
	47,746 千円	老朽化した公共施設の更新等による財政需要の増大が見込まれることから、学校に求められる機能を確認しつつ、限られた財源の中で計画的に施設更新を行うことが必要なため。						
	財源内訳	得られる成果						
	市費	全体的な学校施設の更新を行うことで、生徒の安全安心の確保とともに学習環境の向上が図られる。						
	45,091 千円	目標値や目指すべき状態						
	国費			令和2年度	令和3年度	令和4年度		単位
	2,655 千円	基本設計進捗率	実績値	—	—	—		%
	県費		目標値	—	—	100		%
	0 千円		実績値					
	その他		目標値					
0 千円			実績値					
D 実績値	決算額	得られた成果						
	44,333 千円	校舎等改築工事を進めていくための基本設計が完了し、計画どおり事業を進めることができた。						
		成果指標				令和4年度	単位	
	基本設計進捗率	実績値		100		%		
		目標値		100		%		
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 敷地測量、地質調査、基本設計及び既存建物のアスベスト・PCB調査等を計画どおり完了することができた。また、ワークショップを通じて、児童や地域住民等と新しい小学校の構想を共有することができた。						
	A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性	現状維持 令和7年度（令和8年1月）の新校舎等の供用開始に向けて、令和5年度の実施設計及び仮校舎建設等、令和6年度からの新校舎建設及び北棟改修工事等を着実に進める。					
観点別評価		必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない				